

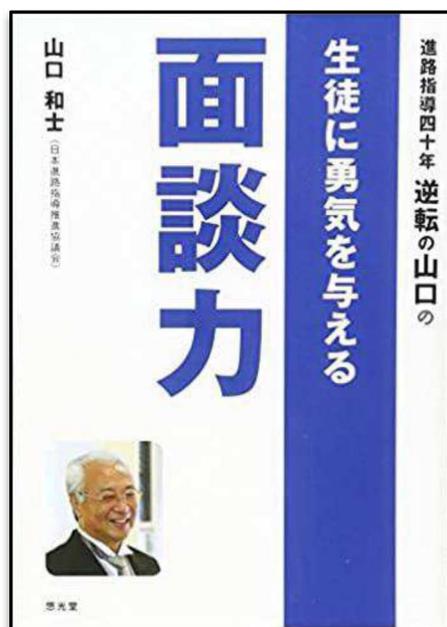
山口 和士 (やまぐち かずし) 先生

講師プロフィール[Web ページ等から抜粋]

1956年山形県生まれ。法政大学文学部卒。群馬県の公立高等学校の教師となり、様々な高校で教鞭をとる。県立高等学校での進路指導主事としての実践をもとに、月刊『進路指導』（日本進路指導協会刊）に2年にわたって「高等学校進路指導」を連載した。管理職となった10年間も、生徒面談を実施、その理論と実践は、全国の高等学校の進路指導の指標となった。2016年3月をもって、最後の勤務校を校長として退職。現在、教育研究会「日本進路指導推進協議会」の会長として、「進路多様躍進校会議」を主催している。群馬医療福祉大学特任教授、同大学入試広報センター長。

北海道、東北、首都圏、中部・東海、北陸、近畿、中・四国、九州・沖縄と、全国の主要地区進路研究会、教育委員会主催研修会、PTA、中学校や高校生対象進路講演会の基調講演者として招聘され、活躍している。最近では、「大学入試共通テスト」の作問試案を作成し、「高大連携システム改革委員」に提出するなど、次代の高等学校、大学改革にも優れた提言を行い、現場の視点を明確に生かした時代を牽引する強い姿勢を示し、全国に注目されている。

山口先生の講演を聴いた本校職員は次のようにおすすめしています。「子どもたち、保護者、学校の先生方にも、元気が出る講演です。保護者対象の講演会では、受験生を持つ保護者が、どのように子どもとの向かい合うかについて参考になるお話を聞くことができます。」



近著「生徒に勇気を与える面談力」